

広 報

とままえ

発行／北海道苫前町
編集／企画振興課広報広聴係



風かおる
人が輝き
躍動するまち

No.525
2005

5



まちの人口

人口／4,152人
男／1,968人
女／2,184人
世帯数／1,741世帯
(3月31日現在)

春の火災予防運動

消防古丹別支署では、4月25日幼年消防クラブの幼児（古丹別保育所）20名が、半日消防士を体験。ブルーとピンクの消防服を身にまとい、放水開始。水しぶきを浴びながらも、元気に消防士気分を満喫していた。また、子どもたちは消防車に乗り込み市街地を巡回。かわいい声で「火の用心」を呼びかけていた。



古短別中学校 3年 大川史奈さん

標語 気をつけて 心の油断が 事故のもと

下水道事業供用開始

苦前下水浄化センター通水式

四月二十五日午前十時、字上平に完成した苦前下水浄化センターにおいて、森町長をはじめ関係機関から四十名が出席し、通水式が行われ、苦前地区の供用を開始した。

同センターは、鉄筋コンクリート二階建地下一階・床面積千五百七十九・八平方メートルの建物で、汚泥を限りなく排出しない嫌気・好気ろ床法を採用。道内では三例目で、管内では初。このシステム導入により、高度の運転管理技術を要しない無人化運転が可能となり、ランニングコストは極めて低くなる。



星野議長とともに稼働スイッチで、システムを作動させる森町長

また、この下水道事業は総事業費三十六億四千百万円を投じ、平成十一年から着工。苦前地区における苦前・栄浜・旭・三豊の七十四軒をカバーし、汚水管一万九千六百二十二メートルが布設され、約七百世帯千三百七十名が利用できる。

通水式では、森町長から「下水道は水質汚濁の防止と生活環境の改善を図る住民生活の最も根幹をなす基盤施設。快適で住みよい町づくりに、大きく貢献するもの」と完成を喜ぶ式辞を述べ、星野町議会議長とともに稼働開始のスイッチを入れた。なお、この下水道事業は、当初平成十七年度から古丹別地区六十五軒六百八十世帯分の計画を開始する予定であったが、まずは嫌気・好気ろ床法をしつかりと軌道に乗せるため、二年度程度据え置くこととしている。



字上平に完成した苦前浄化センター

快速で済みよいまちづくり
水質保全と生活環境整備

救急救命士2名誕生

草薙 勇さん 見事難関の国家試験合格！
白府 正志さん



3月20日札幌市で行われた救急救命士国家試験で、北留萌消防組合消防署古丹別支署に勤務する草薙勇救急係長（47才）と白府正志警防係主査（40才）が受験し、4月19日見事合格を果たした。

これまで、救急救命士は対馬亨主幹のみであったが、この合格で救急救

命士3名体制となり、救急出動時には救急救命士の配置が充実することとなる。

今後、合格した草薙さんと白府さんは、道立羽幌病院において1か月間、病棟並びに外科外来での就業前研修を終えてから勤務することとなる。

合格の発表を聞き草薙さんは「価値ある資格であり、生命を守る重大さを再確認している。少しでも大切な命を救えるよう、これまでの経験を活かしたい」と抱負を語った。また、白府さんは「仕事はきつくなりますが、それ以上にやりがいを感じている。今後も自己研鑽に務め、技術の向上を目指したい」と今まで以上の努力する決意で身を引き締めていた。

救急救命士は、救急時での特定行為（除細動器使用による電気ショック、器具を用いる気道確保、静脈路の確保～点滴ラインの確保）の初期治療が行え、地域救命率の向上に期待が広がる。今後同支署では、「更に1名の救急救命士の養成し、救命体制の充実を図りたい」としている。

留萌中部八タ八タ研究会

八タ八タ稚魚3万匹を放流

四月十五日苦前漁港新港斜路（北防波堤タブルデッキ入口）において、北るもい漁協青年部で



構成される留萌中部八タ八タ研究会（会長高橋幸治「初山別」）が八タ八タの稚魚三万匹を放流。

八タ八タ稚魚は、昨年十一月頃から苦前や羽幌、初山別の海岸で回収されたブリコ十キロ（五百個）を羽幌町うに種苗生産センターでふ化及び中間育成された九万匹。残りの六万匹は、羽幌、初山別で放流された。稚魚の大きさは、体長二五センチ程で、一年九か月で十五センチに成

長し、この海岸に戻ってくる。

ブリコからのふ化及び中間育成は、今年三年目。中間育成の知識・技術も向上し、一年目二万匹、二年目三万匹から今年九万匹と育成できた個体数の確保も拡大。回帰性の高い八タ八タは、北るもい漁協で昨年十八トンの水揚げがあり、そのほとんどが中部地域での漁獲である。うち苦前町の水揚げは、十三トン（約一千万円）の漁獲高となっており、着実に放流効果が現れ、漁業関係者から大きな期待が寄せられている。

地震被害に緊急支援五〇〇〇ドル

ライオンズクラブ国際財団

三月三十一日ライオンズクラブ国際財団(LCIF)から昨年の震度五強による地震被害に対し、緊急災害資金援助として五千ドル(五十万六千九百五十円)と道内三三-A B C複合地区から五十万円が寄贈された。

贈呈式では、町ライオンズクラブの阿部俊一会長のほか第四リジョン江戸栄一チエアパーソンや同第一ゾーン西田政雄チエアパーソンらが、森町長へ「災害復旧のため活用願いたい」と支援金が手渡された。



森町長に5千ドルの支援金を手渡す江戸チエアパーソンら

これでライオンズクラブからの地震被害に対する支援金の寄付総額は、三百万六千九百五十円となった。

地方自治を取り巻く諸課題

議会議員・町職員合同研修

四月十五日役場大会議室において町議会議員・町職員合同研修会が開催され、議員及び町職員、商工会役職員など六十名が参加し、地方自治を取り巻く諸課題について研修した。

講師には、西山泰正留萌支庁長が務め、内閣総理大臣の諮問機関である地方制度調査会での議論経過や平成の市町村合併状況について、課題や問題点などが分かりやすく解説。来年三月には、全国千八百二十二市町村(道内百八十)となり、都道府県の役割も大きく変わり、一人一人未満の小規模市町村のあり方が課題となる。

また、西山支庁長は今後、留萌支庁内に「チーム留萌」(仮称)を結成し、各市町村と合併問題のみならず、地方自治と地域を見直す議論展開を進める考えを示し、「地方自治は自ら汗を流す時代となった。熱意と決意があればできる」として締めくくった。



熱い思いで熱弁する西山留萌支庁長

香老園老人クラブ 創立50周年

創立五十周年を迎えた香老園老人クラブ(会長小山安正・会員三十三名)は、四月三日香川研修センターにおいて、記念祝賀会を開催した。

開会にあたり小山会長からは「50年前の農業はすべて手作業。今は機械化が進み、先人の苦労を思うと深く頭が下がります」と挨拶し、歴代会長三名に対し、感



謝状を贈った。来賓の森町長から「本町では最も早く結成された老人クラブ。会員一丸となり地域に根ざした活動を継続され、その足跡はすばらしい。これからも豊かな活動で健康的な生活となることを祈ります」と祝辞を述べた。

祝賀会は、会員二十五名が参加し、記念誌「思い出の写真集」をみながら、昔の苦労話などで五十年の歴史を振り返っていた。

「文芸」

苫前町文芸と語る会

(短歌)

生き延びて佳き日もあらむうれしきよ孫の結婚曾孫誕生
長 島 水谷 露子

雪瘦せて下より覗く葱の芽のうす青き色春に馴染みて
古丹別 木幡とく子

ワイパーが春の飛雪を払いゆくバス大橋と渡る川越え
古丹別 住吉 美恵

雪深き無言の庭のチューリップ春の体温待らつつ眠る
古丹別 大矢根亮子

足跡を消すが如くに寄する波砂の窪みに白く輝く
栄 浜 横内 弘子

(俳句)

空の碧 海の青さや 桔柏
古丹別 桑 風

残雪も 模様を描く 山の肌
古丹別 林 千代美

川柳

責任の 無い可愛さの 宝馬子
古丹別 運上 吉雄

出世から 縁遠い父の 重い靴
古丹別 今新きみ子

一言の 労わり妻に 言える歳
古丹別 斎数 範章

喉ぼとけ 息子大人の 貌になり
古丹別 関 武

鷹の子へ 鷹になれよと 叩く尻
古丹別 鎌田 信夫

(文責・鎌田)

苫前中学校



松本美樹雄 (59歳)
校長
前任校
幌延中学校

<抱負>
校舎内の展示物や生徒の姿に大変感動しました。「師弟同行」をモットーに、「思いやりとやる気に満ちた爽やかな学校」を目指したいと思います。



鈴木義樹 (39歳)
教諭
前任校
問寒別中学校

<抱負>
②かるく、①つも、③きに、④ねに工夫した挨拶を心がけ、父母・地域の信頼に応える教育を目指し頑張ります。どうぞよろしくをお願いします。



田口薫里 (26歳)
教諭
新規採用
(前任:秋田県本荘南中学校)

<抱負>
苫前町は初めてですが、早く慣れて、子どもたちとともに学び、精一杯がんばりたいと思います。よろしくをお願いします。

古丹別中学校



真田 正 (56歳)
校長
前任校
焼尻中学校

<抱負>
地域、家庭との連携を図り、子どもたちの瞳がキラキラと輝く学校をつくるため、頑張りたいと思います。



武田裕紀子 (25歳)
教諭
新規採用

<抱負>
苫前町の風車を動かす力強い風のように、力いっぱい子どもたちに、ぶつかっていききたいと思います。

着任教員・事務職員の紹介

この春、北海道教育委員会の4月1日付け人事異動により、町内小中高校に新しく着任されました教員・事務職員の皆様を紹介いたします。

苫前小学校



村上郁恵 (27歳)
教諭
前任校
港北小学校

<抱負>
山、海と自然に囲まれた苫前に赴任できうれしく思います。地域、そして子どもたちとのふれ合いを大切にしながら頑張ります。



佐々木うた子 (28歳)
教諭
前任校
沖見小学校

<抱負>
子どもたちのため、苫前町のために精一杯、力を尽くして参りたいと思います。宜しくをお願いいたします。



和野弘典 (38歳)
事務職員
前任校
力昼小学校

<抱負>
引き続き、苫前町でお世話になります。新たな気持ちで頑張りますので、よろしくをお願いします。



石坂優樹 (25歳)
教諭
新規採用

<抱負>
海と山と熊とたわむれながら、子どもたちと楽しく過ごしていきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

古丹別小学校



小 豊 (40歳)
教諭
前任校
幌延小学校

<抱負>
苫前町は保護者の方々や地域の皆さんが、学校に対してとても協力的と聞いており、その期待に応えるよう全力を尽くし、がんばります。



中山康彦 (58歳)
校長
前任校
礼受小学校

<抱負>
苫前町での勤務は初めてですが、子どもの伸びる姿が確認でき、地域の方々や保護者から信頼される学校づくりに努力します。



江尻 聖 (31歳)
教諭
前任校
寿都小学校

<抱負>
子どもたちの素直さと地域の方たちの温かさに大感動しています。すばらしいこの苫前の地で精一杯がんばりたいと思います。



會田匡啓 (27歳)
教諭
新規採用

<抱負>
海と山、自然があふれる苫前町で、子どもたちのために、一つひとつ勉強し、全力を尽くしてがんばります。

安全・安心で、おいしい 学校給食を



春の教職員等の人事異動に併せ、学校給食の栄養指導を担当する学校栄養職員も異動となり、地元出身の木田聖子（35才）さんが、古丹別地区学校給食共同調理場に、着任しました。

木田さんは、これまで羽幌町内の給食センターで9年間、学校栄養職員として勤務。「苫前町でも、地産地消の観点からも、安心安全な道内食品を活用していきたい」と地元食材の活用を図りながら、情報公開にも対応できるよう「献立表には、カロリー表示や食材の細分化により、家庭でも活用できるようにしていきたい」と、よりわかりやすい献立表を目指す。

町内の給食センターは、古丹別と苫前を合わせて児童生徒360名分の給食を提供しており、木田さんはすべての栄養管理をこなす。

「まずは、先生や調理員さんと連携しながら、子どもたちに喜ばれる給食を提供したいです」と抱負を語ってくれた。

お詫び

広報4月号「卒園・卒業」記事の中で、古丹別中学校卒業生21名を28名に訂正いたしますとともに、関係者の皆様に、お詫び申し上げます。

道立苫前商業高等学校



渡辺大輔（23歳）
教諭
新規採用
（前非常勤実習助手）

<抱負>

昨年は、本校で実習助手として1年間勤務し、この4月から教諭として、着任しました。初心に返り一生懸命がんばります。



江尻憲昭（32歳）
教諭
前任校
寿都高等学校

<抱負>

素直な生徒達に囲まれ充実した仕事ができそうです。生徒達の夢実現のため、精一杯がんばります。



小野寺郁成（27歳）
教諭（期限付）
前任校
妹背牛商業高等学校

<抱負>

こちらの学校で3校目となります。まだまだ未熟な部分もありますが、一生懸命がんばります。



成田未来（22歳）
教諭
新規採用

<抱負>

苫前の皆様は、とても暖かく、ここで教師生活のスタートが切れることを大変うれしく思います。一生懸命がんばります！



竹浪顕裕（50歳）
事務長
前任校
中標津高等養護学校

<抱負>

苫前町民として自覚を持ち、自分の持てる力を発揮して、生徒のため、地域のために一生懸命がんばりたいと思います。



佐藤綾（23歳）
非常勤実習助手
前任校
留辺蘂高等学校

<抱負>

子供達が自由に生きられるようサポートし、強い心や優しい心を共に育てていきたいと思っています。

ファイヤー通信 春の火災予防運動防火パレード実施



幼年消防クラブ員によるパレード

4月20日消防古丹別支署では、春の火災予防運動の一環による防火パレード及び街頭PRを実施。幼年消防クラブ（古丹別保育所幼児）46名や婦人防火クラブ2名、危険物安全協会10事業所が参加し、火災予防を呼びかけながら、古丹別市街地をパレード行進しました。

また、午後からは、農協婦人防火クラブ（会長鴨田幸子）6名が古丹別支署前にて、防火街頭PRを行い、通行する車両や通行人に対し、啓発ティッシュや缶ジュースなどを配布し、交通安全と火災予防を呼びかけた。

一方、苫前支署でも同日、危険物安全協会8事業所参加による車両パレードが行われた。



危険物安全協会員も車両パレードに参加



農協婦人防火クラブによる街頭PR



苫前地区でも車両パレード実施

火事・救急は119番！

北留萌消防組合消防署 苫前支署 4-2321
古丹別支署 5-4119

なかよし広場開設

自由に遊べ、子育て情報交換も

町公民館では、四月から毎月第二・第四金曜日の十時から十二時までの二時間、就学前の幼児とその親を対象に、和室を「なかよし広場」として一般開放を始めた。

初日となった同月八日には、親子十三組三十名が訪れ、会場に用意されたボールや大型積み木などの遊具や、布の絵本で子どもたちが思いっきり楽しんだ。会場となった和室は五十畳ほどあり、家に閉じこもりがちな子どもたちは、思う存分走りまわることができ、「これで、お昼寝もしつかりできます」と母親たちも安心して見守っていた。



また、集まった母親たちには、育児や教育など子育ての悩みや疑問などを話し合う情報交換の場としても好評で、「知らない子どもと一緒に遊ぶことで、子どもの成長も確認でき、毎日でも来たいですね」と自然と会話も弾んでいた。

開設した伊藤通康公民館長は、「予想以上の利用者に、ニーズを実感した。次代を担う子どもたちのため、自由に遊べ、子育て不安の解消や情報交換の場として、今後も提供していきたい」と手こたえを感じていた。

高齢者・障害者
児童虐待
配偶者暴力(DV)

生活支援ネットワーク設立

四月二十二日町では、町民課を事務局に、高齢者・障害者を見守り、児童虐待の未然防止や早期発見、配偶者からの暴力(ドメスティック・バイオレンス=DV)からの保護・救済を適切かつ迅速に対応できるよう、「あんしん生活支援ネットワーク」を設立した。

このネットワークは、地域社会あるいは家庭において、多種多様な問題が増加しており、特定の専門機関のみでは解決しがたい問題が複雑化しており、各関係機関の相互連携により、効果的な支援を目指すもの。各委



松浦旭川児童相談署長の講演に
真剣に耳を傾けるネットワーク委員

育委員会など四十五名が参加している。
設立に当たって森町長からは「人間関係の希薄さが問題視されており、児童及び高齢者への虐待が社会問題となっている。問題解決には、早期の発見と対応が求められ、地域の見守り活動にご協力願いたい」とあいさつ。

また、講演では旭川児童相談所の松浦秀昭所長から、増加する児童虐待に関する相談処理件数やその実態について報告され、児童虐待などに対する支援方法においては、「単独機関での援助の限界により、相互の立場を尊重したネットワークが必要。みんなで関係者を支える意識を」とネットワークの重要性を訴えた。

図書室サポーター「本と遊ぼう！」

パタパタびっくり絵本の作り方

四月二十日福祉センターにて、図書室サポーター主催の「本と遊ぼう！」が開催され、親子五組が参加。パタパタびっくり絵本の作製で、親子の共同作業を楽しんだ。

この絵本は、正方形の紙を四つ折にして、中心部に三本の切り込みを入れ、四分の一の紙二本を互いに差



し込み完成。四つ折の紙の中心部を見開くと半分の大きさとなり、両端を引き開くと差し込んだ紙が入り替わり、二種類の絵が瞬時に入れ替わる。指導にあたった図書室サポーターの池上純子さん(字旭)は、「雑誌の付録で見つけ(家庭で)子どもに好評だったので、皆さんも子育ての中で活用できると思います」と簡単に遊べる魅力を伝えていた。参加した親子は、子どもの好きな絵を描き、瞬時に変わるびっくり絵本に驚きながらも、絵本の読み聞かせとともに本と親しんだ。

三毛別熊事件復元現地

熊出没注意



復元住居(上)と
熊の足跡(左)

4月26日三溪の熊事件復元現地、復元住居屋根の囲いテントが破かれ、周りに直径20センチ程度の熊の足跡を発見。この時期は、冬眠を終えた熊が活動しだす頃だが、人が作った建物に現れるのは珍しい。

熊は、足跡から4才程度の体重200キログラム前後と推定される。現地を確認した苫前町猟友会メンバーの林豊行さんは「人工物に現れる熊は、また、現れる可能性もある」という。

この復元地は、雪解けを待って5月中旬にオープンする予定となっているが、訪れる方々に笛や音のなるものを携帯するなど、熊出没に注意をはらうよう呼びかけている。

社会教育からのお知らせ

フワフワスマイル事業

フワフワスマイル事業とは、小さな子どもから、おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃんまでの3世代が協力しあって花を植えて、苦前の町を花でいっぱいにする事業です。たくさん参加してきれいな町にしましょう。

日時 5月28日(土) 午前10時～
 参加を希望される方は午前10時までに各開催場所へお集まり下さい
 場所 苦前：郷土資料館
 古丹別：苦前町公民館
 内容 苦前：古代ロマンロード(苦前小学校前及び郷土資料館付近)のプランターと花壇への花植
 古丹別：古丹別西2条線(歯科診療所から公民館まで)の花壇への花植

公民館図書室からのお知らせ

図書室サポーターが企画実施しています。「本とあそぼう」と「本を利用してやってみよう」の年間スケジュールが決まりました。たくさんの参加をお待ちしております。



本とあそぼう

小さいお子さんとその保護者を対象に読み聞かせや本を利用したおもちゃづくりをします。

月 日	内 容
5月18日(水)	しかけカード
6月15日(水)	お天気がよければ外で読み聞かせやシャボン玉遊びをします
7月20日(水)	
8月17日(水)	
9月21日(水)	ぱくぱく人形
10月19日(水)	ふうとうにんぎょう
11月16日(水)	しゃくとりむし
12月21日(水)	クッキー作り
1月18日(水)	おりがみでさかなつり
2月15日(水)	とびだすピエロ
3月15日(水)	きのぼりさる

本を利用してやってみよう

小学生を対象に本を利用して工作や料理教室をし、本の楽しさや使い方を伝えています。

月 日	内 容
5月27日(金)	木の枝でピノキオを作ってみよう
6月24日(金)	はらぺこあおむしのチョウをつくってみよう
7月22日(金)	
8月26日(金)	恐竜をつくってみよう
9月30日(金)	
10月28日(金)	ダッチオープンで野外料理をつくってみよう
11月25日(金)	
12月16日(金)	ヘンゼルとグレーテルのお菓子の家をつくってみよう
1月27日(金)	
2月24日(金)	スライムをつくってみよう
3月24日(金)	



～あなたの学びたいを応援します～

ご相談・お問い合わせは **苦前町公民館**

でんわ 5 - 4 0 7 6

e-mail syakaikyoiku@town.tomamae.lg.jp
 HPアドレス http://www.town.tomamae.lg.jp/

健康
ばんざい

食生活改善協議会総会

今月の担当は鍵山栄養士です。

四月四日町公民館において、平成十七年度苦前町食生活改善協議会総会が開催されましたので、その内容についてお知らせいたします。

総会は、平成十六年度事業報告・決算報告を行い、十七年度事業計画並びに会計予算について話し合われました。

平成十六年度は、十月に留萌ブロック交流研修会を開催し、羽幌町、遠別町、留萌市から計五十名が訪れ、本町参加者二十三名とともに、調理実習や軽体操を行い、交流を深めました。

一月には、管内教職員を対象とした十年経験者研修において、会員が講師となり、豆腐づ

くり講習会を行い、参加された先生方からは、感謝の言葉をたくさんいただきました。



そのほか、各地区活動や町主催事業への協力など、様々な事業があったと思います。

平成十七年度は、役員改正の年であり、総会において新役員九名を決定いたしました。これまで携わってこられた旧役員の皆様、本当にお疲れ様でした。

旧役員
会長 大川道子

副会長 野川ゆう子
事務兼会計 川森美枝子
理事 下藤ひとみ
大橋愛子
平野律子
監事 松原あけみ

今後の活動は、新役員を中心に進めていくこととなります。新役員の紹介

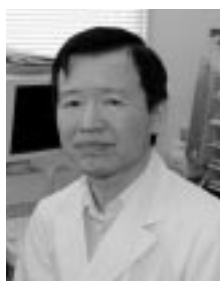
会長 大矢根マサ子
副会長 赤坂サツ子

事務兼会計 早川友子
理事 谷野哲子
今野キミ子
松宮由紀子
大菊直子

監事 大川喜代枝
理事 大川喜代枝

平成十七年度も町民の方々の対象とした料理教室の開催を予定していますので、ぜひご参加下さい。詳細につきましては、回覧にてお知らせ致します。

+ Dr.小野の処方せん



「糖尿病」

現在、日本の糖尿病患者は、この40年間で実に50倍増加し、約700万人いると言われています。そのうち、

40歳以上では、10人に1人が糖尿病と考えられています。

体にとって最も重要なエネルギー源はブドウ糖ですが、特に、脳はブドウ糖がエネルギーとして使われています。

肝臓は、グリコーゲンとしてブドウ糖を蓄え、糖の調節に重要な動きをしています。この指令がうまく伝わらないとブドウ糖をうまく筋肉で使えず、血中のブドウ糖が増えて糖尿病になります。

糖尿病は、始め食べすぎて太っていても、体の細胞にブドウ糖が十分取り込めないとエネルギー不足に陥り、脂肪や筋肉の分解が起こり、痩せてしまいます。

糖尿病は、食事療法こそが治療の基本であり、自分の適性体重を知り、食物をバランスよく摂取することが大切です。健康的に体重を減らすためには、適度な運動が不可欠であり、血糖値のみならず、心肺機能・身体能力の維持にも有効です。

チャレンジデー2005 宮崎県 北郷村 vs 苦前町

5月25日(水) 対戦決定!

きたごうそん
北郷村 (2,103人) vs 苦前町 (4,223人)

スペシャルチャレンジ vs 岩手県葛巻町

まちのすみずみまで力をひとつに連帯感を高め、住民5割の参加による元気なまちを目指す!



体育協会とスポーツ少年団本部を主体に実行委員会を組織し、まちの様々な力を活かし、元気な地域づくりの「きっかけ」として、全ての町民が参加できるチャレンジデーを実施することとしました。(3年目)

宮崎県北郷村

宮崎県東臼杵郡に位置し、山林93%の村で、特産品は椎茸・木炭。農業主体の村です。昨年の参加率82%と苦前町の45.7%を大きく上回る強豪です。

子どもから高齢者まで、すべての住民が参加できる環境と、健康づくりにチャレンジするきっかけの日にしよう!

チャレンジデーとは?

5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までの間、15分間以上の運動を行った人の参加率を競い合う住民参加型スポーツイベントです。参加率とは以下のとおりです。
参加者人数÷人口(平成17年2月1日現在の4,223人)

- 参加対象 苦前町内にいる全ての人 (町外の通勤者、観光客も対象となります。)
- 実施種目 15分以上継続して体を動かしていれば、スポーツの種目は問いません。
- 実施場所 苦前町内であればどこでもOK!
- 参加者の中から抽選でふわっとギフト券が当たる!

スペシャルチャレンジとして、昨年同様に岩手県葛巻町とも対戦します。

みんなで築く

すこやかライフ

豊かな老後

国民健康保険・老人保健ガイド

国保・老健Q&A

Q 病院に支払う医療費が高額になったとき医療費の払い戻しが受けられるそうですが？

A 国保加入者が病院などにかかり、多額の医療費（入院中の食事代を除く保険適用分）が自己負担限度額を超えて支払ったとき、申請することにより高額療養費として払い戻しを受けることができます。自己負担限度額は、左表のとおりです。

なお、支給額の決定については月の初日から末日までの

暦月を単位とし、病院（診療所）入院と通院毎に計算するなどの基準があります。

《お知らせ》
 苫前町国保では、加入者が支払う医療費が著しく高額となり、いったん自己負担して支払うことが困難であると認められる場合、申請により支払いに必要な資金の貸付のあつせんを行います。

不明な点や詳細については、事前に町民課しあわせ係までお問い合わせください。

70歳未満の人の自己負担限度額

高額療養費に該当するとき	自己負担限度額
1ヶ月に、同じ医療機関（入院・通院ごとに計算）に支払った自己負担額が右欄の限度額を超えた場合、その超えた分が高額療養費の対象となります。	一般 72,300円 + (医療費 - 241,000円) × 1% 上位所得者 139,800円 + (医療費 - 466,000円) × 1% 低所得者 35,400円
同一世帯で過去12ヶ月以内に高額療養費の支給が4回以上あった場合には、4回目以降の自己負担限度額（右欄）を超えた分が高額療養費の対象となります。	一般 40,200円 上位所得者 77,700円 低所得者 24,600円
1ヶ月に、同一世帯で21,000円以上の自己負担額を2回以上支払った場合、それらを合算して自己負担限度額を超えた分が高額療養費の対象となります。	合算対象となる基準額 一般・上位所得者・低所得者ともに21,000円 自己負担限度額は、上記欄を参照
額な治療を長期間続けなければならない病気（血友病、人工腎臓を実施している慢性腎不全など）の場合は、自己負担限度額は1ヶ月10,000円となります。（特定疾病療養受療証が必要となります。）	10,000円

70歳以上の人の自己負担限度額

高額療養費に該当するとき	自己負担限度額
70歳以上の人が1ヶ月の外来で支払った自己負担額が右欄の限度額を超えた場合、その超えた分が高額療養費の対象となります。	一定以上所得者 40,200円 一般 12,000円 低所得者 8,000円
同一世帯で70歳以上の人が1ヶ月に支払った自己負担額をすべて合算して、右欄の限度額を超えた場合、その超えた分が高額療養費の対象となります。	一定以上所得者 72,300円 + (医療費 - 361,500円) × 1% 一般 12,000円 低所得者 8,000円

介護・福祉 Q&A 「介護保険サービスの利用の仕組み」

介護保険サービス（在宅サービス、施設サービス等）を利用するためには、役場町民課しあわせ係または古丹別支所窓口申請書を提出し、要介護認定を行う必要があります。
 対象者：65歳以上のすべての方、40～64歳の方の場合は老化に起因する特定疾患により介護が必要になった方

介護保険で利用できるサービス（在宅・施設サービス）

- ・在宅サービス：ヘルパー、デイサービス、訪問看護等（要支援以上に認定された方が対象）
- ・施設サービス：特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型医療施設（要介護1以上に認定された方が対象）

申請

本人または家族（ケアマネジャー、介護保険施設の代行可）必要なもの：介護保険被保険者証、要介護認定申請書

訪問調査

町の調査員が訪問し、心身の状況や日常生活動作などチェック

審査判定

訪問調査の結果及び、かかりつけの主治医の意見書をもとに1次判定並びに2次判定を実施して要介護度を決定します。

要介護認定

介護認定審査会の判定にもとづき町が要介護状態区分（要支援・要介護1～5）を認定し、認定結果通知書と認定結果が記載された保険証を送付します。

お問い合わせ

苫前町役場町民課しあわせ係
 01646-4-2215
 （内線273）まで

マイプランをしっかりと 国民年金

学生納付特例制度を
ご存知ですか。

対象となる学生
国内に住むすべての人は、二〇歳から国民年金の被保険者となり、学生は在学中の保険料納付を猶予する「学生納付特例制度」があります。

この制度は、本人所得が一定以下（十七年度「おおよそ百十八万円以下」）である学生が対象で、申請により適用されます。通常の免除制度と違い、同居している世帯主等の所得は、承認の可否に影響されません。

老齢基礎年金との関係
老齢基礎年金を受け取るため

には、原則保険料の納付済期間等が二十五年以上必要です。

この特例の承認を受けた期間が、「二十五年以上」という受給資格期間に含まれますが、年金受給額の計算には含まないため、満額の老齢基礎年金を受け取るために、特例の承認を受け取ってから十年以内に、保険料を納付（追納）する仕組みになっています。ただし、二年以上経過後に追納する場合は、猶予されていた時の保険料に、一定の額が加算されます。

障害・遺族基礎年金との関係
障害や死亡など不慮の事態が生じた場合に、その事故の発生日の前々月までの一年間に保険料の未納があると障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合があります。

しかし、この特例の承認を受

ける期間は、受給要件の対象期間になり、万が一の時でも障害基礎年金等を受け取ることができます。

申請手続きが必要ですが、本制度を利用するには、申請により承認を受ける必要があります。「国民年金保険料学生納付特例申請書」に必要事項を記入のうえ、住民票を登録している市区町村国民年金担当窓口へ申請してください。

本町においては、町民課住民係又は古丹別支所が窓口になります。なお、前年の所得を確認する必要があるため、申請は毎年必要になります。

お問合せは、町民課住民係又は北海道社会保険事務局留萌事務所国民年金業務課（電話〇一六四 四三 七二二一）まで。

スマイル 住まいる情報 Information

ファクシミリ(FAX)による 年金相談開始

社会保険庁では、相談者のニーズに即応したサービスを提供するため、FAXによる年金相談を開始しました。

相談は、専用用紙に必要事項を記入のうえ、道社会保険事務局留萌事務所(0164-43-2289)にFAXしてください。

FAX受信後、原則として翌日（閉庁日を除く）までに受付完了した旨のFAXが送信されます。

注意事項等

- (1) 被保険者記録や年金見込額など個人記録の相談は、個人情報保護のため、回答は本人に郵送いたします。
- (2) 個人記録に関わらない相談は、FAXにて回答しますので、FAX番号を必ずご記入願います。

また、送信される際は、FAX番号にお間違いのないようお願いいたします。

専用用紙について

専用用紙（文書相談受付票）は、苫前町町民課住民係又は古丹別支所にあります。又、社会保険庁のホームページから入手することができます。

北海道社会保険事務局留萌事務所

春の地域安全運動

みんなでつくろう 安心・安全の街

防犯協会と警察では、自治体や地域の皆さんと連携して、犯罪や事故などによる被害を未然に防止し、安全で安心して暮らせる地域社会をつくるために「春の地域安全運動」を行います。

【運動期間】

5月11日から5月20日

【運動スローガン】

「みんなでつくろう 安心安全の街」
運動期間中、各地域では、空き巣等の侵入犯罪や引ったくり等の街頭犯罪を未然に防止するため、防犯診断や防犯訓練、女性やお年寄り、子どもを犯罪から守るための防犯講話や参加実践型の防犯教室等さまざまな活動を予定しておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

羽幌警察署

戦没者遺族の皆様へ

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金（第八回特別弔慰金）が支給されます。

平成十七年四月一日現在において、恩給法による公務扶助料や戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金等を受ける方（戦没者等の妻や父母等）がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に特別弔慰金が支給されます。

一、平成十七年四月一日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方

二、戦没者等の子
三、戦没者等と生計関係を有していた 父母、孫、祖父、兄弟姉妹（戦没者等と生計関係を有していなかった方、平成十七年四月一日において婚姻により姓が変わって

いる方又は、遺族以外の方と養子縁組をしていられる方は除かれます。四、前記三以外の父母、孫、祖父母、兄弟姉妹

五、前記一から四以外の三親等内の親族（戦没者等の死亡時まで引き続き一年以上生計関係を有してした方に限られま

す。）
【支給内容】
額面四十万円、十年償還の記名国債
【請求期間】
平成十七年四月一日から平成二十年三月三十一日まで
【請求窓口】
役場町民課住民係

請求手続など詳細については、役場町民課（電話四二二一五）又は北海道保健福祉部保護課（〇一一一三三一四一一）へお問い合わせください。

6月は外国人労働者問題 啓発月間

近年、経済社会の国際化の進展に伴い、我が国に入国・在留する外国人は増加傾向にあり、我が国の労働市場に及ぼす影響も大きくなっています。

このため、国は毎年六月を「外国人労働者問題啓発月間」と定め、各種の啓発活動に取り組みこととしています。

また、外国人労働者の失業の予防や再就職の促進などに役立つため「外国人雇用状況報告

制度」を実施しています。

平成十七年六月一日現在、外国人労働者を雇用している。

請負・派遣により外国人労働者を事業所内で就労させている。

のいずれかに該当する事業主の方は、六月十五日までに管轄のハローワーク(公共職業安定所)に報告書を提出くださいますようお願いをいたします。

ご不明な点につきましては、ハローワーク又は、北海道労働局職業安定部職業対策課(〇一七〇九 二三一一 内線三六八三)にお問合せ下さい。

平成17年度調理師試験受付

試験期日 8月23日(火) 13:30~
 試験場所 滝川市・稚内市
 願書受付 留萌保険福祉事務所 保健福祉部
 受付期間 5月30日(月)~6月3日(金)
 受験資格

義務教育を受けた者で、多数人に対し飲食物を提供する学校・病院等の施設又は、食品衛生法施行令第5条第1号の飲食店営業、第11号の魚介類販売業、第28号の惣菜製造業において、平成17年6月3日までに2年以上の調理の業務に従事した者

提出書類 調理師試験受験願書 1部
 調理師試験受験者整理カード 1部

手数料 6,700円に相当する額面の北海道収入証紙を所定の箇所に貼り、印章または署名により消印すること

問合せ先 留萌保険福祉事務所保健福祉部
 子ども・保健推進課保健予防係
 住所：留萌市住之江町2丁目1-2
 場所：0164-42-1511(内線3642)

電波利用保護旬間 6月1日から10日

電波の利用は、携帯電話や人命・財産の保護などあらゆる分野で役割を果たしていますが、不法無線局が重要無線通信やテレビ放送に妨害を与えるなど社会的問題を起こしています。

このため総務省では、六月一日から十日までを「電波利用保護旬間」と定め、電波利用環境保護の大切さを訴えています。

暮らしを支える電波ルールを守って正しく使いましょう。



北海道総合通信局ホームページ
<http://www.hokkaido-bt.go.jp/>

電波に関するお問合せは
 北海道総合通信局
 (札幌市北区北8西2)

受付時間
 午前8時半から午後5時

(土日祝日除く)
 不法無線局・混信・妨害

〇一一 七三七 〇〇九九
 テレビ・ラジオの受信障害

〇一一 七三七 〇〇三三
 その他行政相談

〇一一 七〇九 三五五〇

税務職員募集

札幌国税局では、税務職員を募集しています。人事院が実施する国家公務員採用第 種(税務)試験の最終合格者から採用します。

受験資格

昭和60年4月2日から

昭和63年4月1日生まれの者

受験申込期間

6月21日(火)から28日(火)

受験申込先

〒〇六〇 〇〇四二
 札幌市中央区大通西12丁目

人事院北海道事務局

〇一一 二四一 一二四八

ご厚志に感謝します

苫前町への寄付

古丹別 伊藤 修様

札幌市 運上敏 明様

各団体クラブ等への寄付

(長島老人クラブへ)

旭川市 前田 幸男様

苫前婦人会からの寄贈

福祉センターへ(布巾55枚・雑巾49枚)

古丹別婦人会からの寄贈

町公民館へ(雑巾25枚・手ぬぐい15枚)

古丹別中学校へ(雑巾50枚)

古丹別小学校へ(雑巾50枚・交通安全あいうえお表17部)

古丹別保育所へ(雑巾20枚)

戸籍の小箱

慎んでお悔み
 申し上げます

氏名 菅野 キク(76歳) 死亡日 4月7日 住所 古丹別
 前田正郎(85歳) 4月10日 長島

ご成長を
 お祈り申し上げます

氏名 赤坂 真鈴(長女)和義/真巳 3月15日 苫前

未長くお幸せに

氏名(夫) 佐藤 公彦(苫前) 住所 雅美(苫前)
 氏名(妻) 小野 拓(古丹別) 住所 白府(上平)

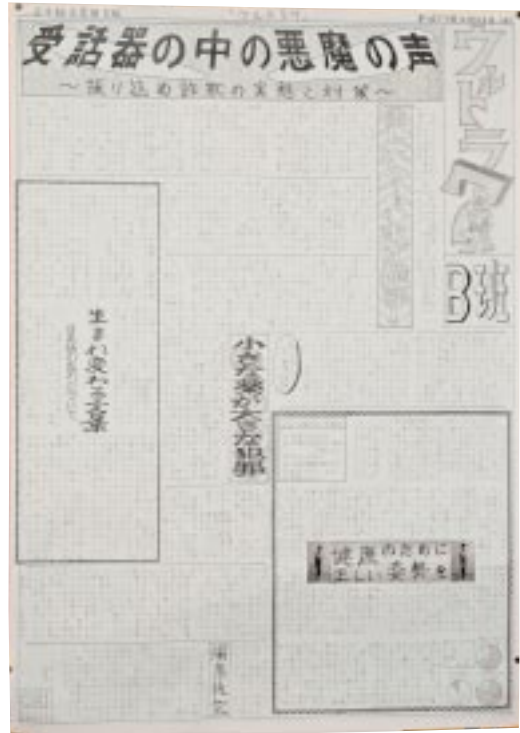
苫前町の交通事故情報

平成17年3月末現在

発生件数 死者数 負傷者数
 2件 0人 2人

交通事故死ゼロ日数は
 3月31日現在で334日

古丹別中学校生徒の作品



ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

今回、平成16年度総合学習で取り組んだかべ新聞を紹介いたします。

B班「ウルトラ7」

- 3年 鈴木文弥・村田貴紀・花井絵美
- 2年 矢田 靖・玉川茉弥・伊藤美優
- 1年 辻亜梨沙

E班「今今四愛」

- 3年 矢田 誠・伊藤未来・伊藤玲佳
- 2年 松倉浩平・古村栄真
- 1年 丹羽太貴・佐藤静香

H班「思考錯誤」

- 3年 花井大地・丹羽康志・青木香・松田春香
- 2年 伊藤陽香・水野めぐみ・大川史奈
- 1年 向野信哉

上記学年は平成16年度における学年です。

このコーナーは、町内の保育所（園）や小中学校の園児や児童生徒の作品を紹介いたします。ひとりでも多くの作品を紹介したいと思っています。5月号の予定は古丹別中学校の生徒のみなさんです。



風力発電の売電状況 (町営分)

17年の実績(1月~3月分)

17,763,870円

平成17年3月分の実績

・供給電力量

589,030kWh

7,390,853円

(設備利用率36.87%)

編集雑誌記帳

プロ野球が開幕し、北海道日本ハムファイターズの主催試合には、道内の名産がホームラン賞として贈られ、苦前町で生産されている大麦若葉(青汁)が、昨年に続き提供された。提供したのは、北海道大麦若葉本舗の山本秀雄さん(字古前)。カルシウムなど栄養価が高く、自慢の商品。「良薬は口に苦し、忠言耳に逆らう」とありますが、あなたも一度味見してみてください!

5月 町税の納期

今月は、**固定資産税**の納入月です。

納期内納入にご協力願います。